

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数					省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	総合教育科目	専門科目	合計			
家政学部	家政保健学科	夜・通信	—	—	6	84	90	13		
	管理栄養学科	夜・通信			6	57	63	13		
児童学部	児童学科	夜・通信		—	—	6	109	115	13	
	子ども心理学科	夜・通信				6	18	24	13	
教育学部	教育学科	夜・通信		—	—	6	147	153	13	
(備考)										

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>シラバス (全文検索)</p> <p><a href="https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbskwr.do">https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbskwr.do</a></p> <p>検索キーワード「実務経験」を入力し、「実務経験を活かした授業」の講義一覧を表示させる。</p> <p>「情報公開」&gt;6. 大学等の教育課程に関する情報</p> <p>(1) 授業科目、授業内容、授業計画：実務経験を活かした授業科目一覧</p> <p><a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</a></p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

「情報公開」>1. 基本情報 (5)役員・評議員の状況：役員  
[http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic\\_info/index.html](http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html)

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 理事長	2019年7月6日 ～ 2023年7月5日	管理運営
非常勤	株式会社 代表取締役会長	2019年7月6日 ～ 2023年7月5日	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鎌倉女子大学
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画については、各授業科目の「科目ナンバー」、「授業時間以外に必要な学習時間の目安」、「授業概要」、「到達目標」、「建学の精神に基づく深い教養と高い専門性に富む学士力の形成への貢献」、「内容(授業の各回の授業内容)・方法(講義・実験・演習等)」、「準備学習・発展学習」、「成績評価(評価方法・割合)」、「教科書」、「参考書」を記載した『シラバス』を作成している。</li> <li>・実務経験のある教員による授業科目については、『シラバス』の「授業概要」に、実務経験のある教員がどのような授業を行うかを記載している。</li> <li>・シラバスに記載する必要がある項目、記載方法、留意事項等について『シラバス作成の手引』に示している。</li> <li>・『シラバス』の作成過程については、12月に『シラバス作成の手引』を教員に配付し、作成依頼を行う。2月末までに各教員は担当授業科目のシラバスを作成する。各教員が作成したシラバスを学科長・教務担当が確認し、3月末に大学のホームページに公表する。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	シラバス(カリキュラムから検索) <a href="https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbsscmr.do">https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbsscmr.do</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修成果の評価については、学則第35条に授業科目の成績評価、第36条に成績評価要件、第37条に単位の授与、第38条に試験について規定し、学生に示している。</li> <li>・各授業科目の評価方法については、『シラバス』に記載している。</li> <li>・『シラバス』には、試験、課題提出、実技、成果物提出、発表、実践、グループワーク、受講状況等の評価方法をあらかじめ示している。</li> <li>・『シラバス』に示した評価方法の複数の要素を用いて、各学生の学修成果を総合的に評価し、単位を与えている。</li> </ul>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績評価には、GPA制度を取り入れ、客観的な指標を設定している。
- ・GPAの算出方法は、以下の通りである。

合否	評価	評点	評価の基準	Grade Point
合格	S	100～90点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績	4
	A	89～80点	到達目標を十分に達成できている優れた成績	3
	B	79～70点	到達目標を達成できている成績	2
	C	69～60点	到達目標を最低限達成できている成績	1
	合	合格	段階なし	GPAに算入しない
	認	合格	段階なし	GPAに算入しない
不合格	F	59点以下	到達目標を達成できていない成績	0
	E	成績評価なし	評価なし	0
	否	不合格	評価なし	GPAに算入しない

GPAの算出式（小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを算出する）

$$\text{GPA} = \frac{\text{(履修登録した授業科目のGrade Point} \times \text{単位数) の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

- ・成績評価とGPAについては、『履修の手引』に示すとともに、大学ホームページ「情報公開」ページに掲載している。
- ・成績の分布状況については、各学期の成績確定後に、教務部学務課でデータをまとめ、資料（成績一覧表、各学科・各学年のGPA一覧表（GPA順・学籍番号順））を作成している。各学科の学科長・教務担当教員・クラスアドバイザーは、作成された資料を確認することで、成績の分布状況を把握し、学修指導に活かしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報 (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</a>
------------------	---

#### 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・卒業の認定方針については、大学、各学部、各学科のディプロマポリシーを策定し、大学ホームページに公表している。
- ・ディプロマポリシーについては、カリキュラムポリシーとともに、オリエンテーションの際、学生に理解を促し、学生はディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを意識した履修・学修を行っている。
- ・卒業判定の手順については、卒業学年の成績確定後、まず学科長・教務担当教員・クラスアドバイザーによって卒業要件充足状況を確認し、学科会議において、卒業要件充足者が各学科の学士課程修了及び卒業並びに学位授与を認定できるか審議する。続いて教務委員会、学部長会議、教授会の順で審議し、最終的には教授会の議を経て学長が決定している。
- ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容は次のとおり。

##### 【鎌倉女子大学】

- ・鎌倉女子大学は、以下のように学位授与の要件を定める。
  1. 学修者は、本学固有の教育理念であると同時に、古今にわたる普遍の教育理念である「感謝と奉仕に生きる」を常に目途としながら、本学固有の教育目標である「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、以て自らの職能・職域を通じて健全な社会の創造に貢献し、自らの未来を力強く切り拓くため、所定の期間在籍し、基準となる単位数を修得しなければならない。
  2. 本学は、大学共通の「総合教育科目」及び各学部・学科の設置目的に照らして編成された「専門教育科目」を共に修得していることを学位授与の基準とする。

##### 【家政学部】

- ・家政学部は、以下のように学位授与の要件を定める。
  1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、家政学、保健学、又は栄養学等の分野における学術知見と方法の修得を通じて、健康で文化的な人間の生存とその形式、また健全で多様性に富む生活世界を創造しようとする学修者に「学士（家政学、又は栄養学）」の学位を授与する。
  2. 本学部は、それぞれの学科の定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。

##### (家政保健学科)

- ・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、家政学及び保健学の専門的知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（家政学）」の学位を授与する。
  1. 人間生活と直接関わる家政学及び保健学の広い領域を体系的に併修することで、生活者の立場から、科学的視点で考察することのできる総合力を身につけている。
  2. わが国の伝統文化を継承しつつ、修得した知識・技術を活用して、時代が生み出す課題を発見し、これを創意・工夫によって解決することのできる応用力を身につけている。

3. 生活の質的向上を目指し、家族と個人のウェルビーイングを実現するために必要な生活情報を確保するスキルを身につけている。
4. 社会的責任感と倫理観をもち、自己管理能力の高い自立した女性として、生涯にわたり学びつつ、社会に貢献しようとする態度を身につけている。

(管理栄養学科)

- ・ 本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、栄養管理及び栄養教育に必要な知識と技能を培った学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（栄養学）」の学位を授与する。
  1. 本学科における専門教育科目の基本的且つ体系的知識を理解し、栄養、食品、医療、教育等に関する知識と技術を修得し、健康管理、給食管理等、総合的な栄養マネジメントができる能力を身につけている。
  2. 医療、保健、福祉にわたる分野において、傷病者及び健常者の栄養評価・判定に基づく適切な指導を行うことができると共に、施設における給食及び栄養管理の知識と技術を活用できる能力を身につけている。
  3. チーム医療の一員として活動することができるコミュニケーションマインド及びスキルを培い、組織活動において目的の方向に導くことができるリーダーシップを備えるなど、専門職としての適切な態度を備えている。
  4. 栄養や健康に関する情報の収集、データの解析等、情報リテラシーを修得し、これらを効果的に活用することにより、問題を解決する能力を身につけている。
  5. 人間の生命と尊厳を尊重し、国民のニーズに対応した健康生活の維持増進に貢献しようとする態度を身につけている。

#### 【児童学部】

- ・ 児童学部は、以下のように学位授与の要件を定める。
  1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自然的・社会的・文化的環境の中に成立する児童の生活・発達・教育・心理・活動等を学問的に理解し、児童の知情意にわたる調和的な育成を支援できる学修者に「学士（児童学、又は心理学）」の学位を授与する。
  2. 本学部は、それぞれの学科が定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。

(児童学科)

- ・ 本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、児童学の専門知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（児童学）」の学位を授与する。
  1. 児童の全体像に関わる理解とその育成支援に資する、児童関連の教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化の諸領域を総合的に学修している。
  2. 児童研究の総合性と専門性を深め、情報化、グローバル化の文脈の中で教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化を理解しようとする態度を身につけている。
  3. 急速に変化する現代社会の中で次世代を育成していく知見と手法を修得している。
  4. 児童学全般に関わる専門的知見を基礎に、児童関連の職域（ビジネス分野を含む）等において、具体的な対応の仕方や指導法を実践できる臨床的スキルを身につけている。

(子ども心理学科)

・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、「児童の権利に関する条約」に規定された18歳未満の子どもの心と行動、生きる生活世界についての理解を深め、健全な育成支援の技法を修得した者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（心理学）」の学位を授与する。

1. 心理学に関する基礎的理論と研究方法を修得し、これらを応用して研究を推進する能力をもち、更に心理学的援助の実践能力を身につけている。
2. 乳幼児期から青年期までの子どもの発達を支援できる知識と援助技法を身につけている。
3. 教育・健康福祉・医療関連分野及び関連企業等で活躍できる能力を身につけている。

**【教育学部】**

・教育学部は、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、情報化、グローバル化し、多様化・複雑化の一途をたどる日本社会の中にあつて、わが国の伝統文化と異文化が交錯する国際社会の動向についての学問的理解を深め、児童・生徒を指導するためにふさわしい心構え・知識・技術・態度を身につけている学修者に「学士（教育学）」の学位を授与する。
2. 本学部は、学科が定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。

(教育学科)

・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、教育学の専門的知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（教育学）」の学位を授与する。

1. 生涯学習過程を見据えて、人間の存在・成長・目的について多面的な教育学的理解をもって、児童・生徒を教育しようとする情熱と勇気を身につけている。
2. 専門性に富んだ高い教授スキルをもち、同時に学校間の相互連携に対応し得る総合的な知見をもって、児童・生徒の生活全般にわたる指導を展開することができる。
3. 自然・社会体験、教育関連施設及び奉仕活動等の指導体験を通して、人間力としての知性、感性、社会性、倫理観、コミュニケーション能力を児童・生徒に身につけさせることができる。
4. 健全な良識に基づいた豊かな人間性と教育学的力量をもって生活及び教育全般の指導ができる。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

教育方針（3つのポリシー）：ディプロマポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/policy/index.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (4) 貸借対照表 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (5) 収支計算書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>
財産目録	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (3) 財産目録 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>
事業報告書	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (2) 事業報告書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>
監事による監査報告(書)	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (6) 監事の監査報告書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画 (名称: 事業計画書 対象年度: 2019年度)	
公表方法:	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (1) 事業計画書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html</a>
中長期計画 (名称: 中期計画 対象年度: 2018年度~2022年度)	
公表方法:	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (5) 中期計画 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:	「情報公開」>9. 大学等の評価に関する情報 (1) 自己点検・評価に関する報告書: 鎌倉女子大学 自己点検・評価報告書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html</a>
-------	--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:	「情報公開」>9. 大学等の評価に関する情報 (2) 認証評価の結果についての報告書: 大学機関別認証評価 評価報告書 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html</a>
-------	---



(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	家政学部
教育研究上の目的（公表方法）	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (2)教育研究上の目的 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>
(概要)	・家政学部は、科学的教養と優雅な性情を以って健全で多様性に富む生活世界を創造すると共に、健康で文化的な人間の生存とその形式を追求することの出来る学術知見と方法を教育研究し、家政・健康栄養等の分野における有為な人材の育成に資することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法）	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー ディプロマポリシー <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>
(概要)	・家政学部は、以下のように学位授与の要件を定める。 1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、家政学、保健学、又は栄養学等の分野における学術知見と方法の修得を通じて、健康で文化的な人間の生存とその形式、また健全で多様性に富む生活世界を創造しようとする学修者に「学士（家政学、又は栄養学）」の学位を授与する。 2. 本学部は、それぞれの学科の定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。 (家政保健学科) ・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、家政学及び保健学の専門的知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（家政学）」の学位を授与する。 1. 人間生活と直接関わる家政学及び保健学の広い領域を体系的に併修することで、生活者の立場から、科学的視点で考察することのできる総合力を身につけている。 2. わが国の伝統文化を継承しつつ、修得した知識・技術を活用して、時代が生み出す課題を発見し、これを創意・工夫によって解決することのできる応用力を身につけている。 3. 生活の質的向上を目指し、家族と個人のウェルビーイングを実現するために必要な生活情報を確保するスキルを身につけている。 4. 社会的責任感と倫理観をもち、自己管理能力の高い自立した女性として、生涯にわたり学びつつ、社会に貢献しようとする態度を身につけている。 (管理栄養学科) ・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、栄養管理及び栄養教育に必要な知識と技能を培った学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（栄養学）」の学位を授与する。

1. 本学科における専門教育科目の基本的且つ体系的知識を理解し、栄養、食品、医療、教育等に関する知識と技術を修得し、健康管理、給食管理等、総合的な栄養マネジメントができる能力を身につけている。
2. 医療、保健、福祉にわたる分野において、傷病者及び健常者の栄養評価・判定に基づく適切な指導を行うことができると共に、施設における給食及び栄養管理の知識と技術を活用できる能力を身につけている。
3. チーム医療の一員として活動することができるコミュニケーションマインド及びスキルを培い、組織活動において目的の方向に導くことができるリーダーシップを備えるなど、専門職としての適切な態度を備えている。
4. 栄養や健康に関する情報の収集、データの解析等、情報リテラシーを修得し、これらを効果的に活用することにより、問題を解決する能力を身につけている。
5. 人間の生命と尊厳を尊重し、国民のニーズに対応した健康生活の維持増進に貢献しようとする態度を身につけている。

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法）

「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー カリキュラムポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

#### （概要）

- ・家政学部は、以下の諸点に注力しながら、カリキュラムを編成する。
  1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学生が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識及びスキルを修得することを支援するカリキュラムの編成。
  2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学生が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を志向することのできるカリキュラムの編成。
  3. 家庭、栄養、保健等に関する専門的知識及びスキルを生活世界の様々な場面に即して活用できる実践的な応用能力を開発するカリキュラムの編成。
  4. 学生の関心と選択の幅を広げることによって学生の学修意欲を高めるとともに、自らの関心と選択を対象化できる視点を養うことに配慮したカリキュラムの編成。
  5. 各自の到達目標を設定し、 Semesterごとに、専門的知識及びスキル、また人間形成に必要な教養の到達度を確認しながら自己実現に向けて自己評価ができる学修課程の編成。

#### （家政保健学科）

- ・家政保健学科の専門教育科目は、家政学並びに保健学の幅広い領域を「生活環境デザイン」「生活経営情報」「教育健康福祉」の3つのキーワードを中心に体系的に整理されている。このキーワードで括られる科目群は、同時に履修モデルを意味し、学生は、これらをモデルとしながら、自らの関心と希望に応じて横断的に選択履修することができる。詳細は、以下の通りである。
  1. 家政学及び保健学を総合的に学修する基盤科目として、家政学、保健学、生活経営学（家庭経済学を含む）、家族関係学の4科目を必修とし、第1～2 Semesterに配置する。

2. 「免許・資格プログラム」として、中学校・高等学校1種免許状（家庭・保健）及び養護教諭1種免許状、フードスペシャリスト、インテリアプランナー登録資格の課程を設置し、学修者の将来設計に応じ、組み合わせで履修することが可能となるように配置する。
3. 「企業学習プログラム」として、生活経営学（家庭経済学を含む）の科目を中心に、総合教育科目群と専門教育科目群から選択履修することで、社会で活動するための資質を身につけさせることを目的とする。
4. 生活課題を解決する知識・技能を培うために、講義に加え、演習、実験及び実習を組み合わせることにより、学修成果を上げる授業内容を提供する。
5. 学内で得た知識や技術を応用して、課外活動（教育ボランティア、地域ボランティア、インターンシップ等）に自発的かつ積極的に参加できるプログラムを提供する。
6. 「家政保健学総合研究」は、Semester単位で2年間の履修とし、学修者の専門性を深めるとともに生涯にわたる学修態度を養い、関連する教育体験、地域及び企業等と連携した企画等に参加することで、社会性や倫理観を養いながら実践力を身につけさせる。

（管理栄養学科）

・管理栄養学科の「専門教育科目」は、食生活を通して疾病を予防・治療し、健康を維持増進したいという国民的課題に応えられる管理栄養士、また栄養教諭の養成を目的として編成された実践的なカリキュラムとなっている。詳細は、以下の通りである。

1. 専門教育科目を履修する上で基礎となる化学、生物学、生化学、解剖生理学、基礎栄養学等を第1～3Semesterに置いて専門知識の基礎を学び、第3Semester以後に、応用栄養学、臨床栄養学、給食経営管理等の科目を配置し、専門知識の修得を更に進めるようにする。
2. 第1～6Semesterまでは「専門教育科目」の講義・演習と併行し、実験・実習を行い、知識を深めると同時に技術の習得を図る。
3. 第5Semesterから知識と技術の統合を図るため、管理栄養士の実践活動の場である病院等において臨地・校外実習を行う。
4. 第5Semesterから始まる「管理栄養学総合研究」において、専門的知識を深めるため、少人数制で特定のテーマについて、特定の教員の指導のもとで研究を行い、更に第7Semesterからの卒業研究を履修した場合には、管理栄養学総合研究での研究成果として発表する。
5. 栄養教諭1種免許状の取得については、管理栄養士養成課程の卒業必修単位に加え、第1～8Semesterに、栄養に係る教育及び教職に関する科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）

「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー アドミッションポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

（概要）

- ・家政学部の求める人材は、以下の通りである。
1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
  2. 専門知識を学ぶための基礎的学力に基づき、それぞれの学科で掲げている義務と目標を意欲と努力をもって学びとろうとする人。

3. それぞれの学科で修めた学びの成果を活かして、グローバル化されていく生活世界全体の質の向上を目指して、自らの生きる地域・社会に貢献しようとグローバルに思考し、行動できる人。

(家政保健学科)

・家政保健学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 家庭を中心とする人間生活と健康福祉に関心があり、生活者の視点から諸問題を探求し、実践力を身につけたいと考える人。
2. 目的意識を持って、家族と個人を取り巻く社会や環境を観察し、積極的に課題に取り組む姿勢のある人。
3. 専門知識・技術を活かし、企業や地域で貢献する、または中学校・高等学校の教諭（家庭科・保健科）、小学校・中学校・高等学校の養護教諭として社会に貢献する意欲のある人。

(管理栄養学科)

・管理栄養学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 自然科学及び食と健康に関わる分野に関心があり、たゆまぬ探究心をもって積極的に学修に取り組む意欲のある人。
2. 他者とコミュニケーションをとることのできる豊かな人間性を持ち、人間の生命を預かる強い自覚を有する人。
3. 将来、保健・医療・福祉・教育等の分野で管理栄養士として活躍しようという目的意識があり、地域・社会に貢献しようとする人。

学部等名	児童学部
教育研究上の目的（公表方法）	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (2)教育研究上の目的 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>
(概要)	・児童学部は、自然的・社会的・文化的環境に身をおく児童の生活・発達・教育・心理・活動等に関する学問的理解を推進し、その知情意にわたる調和的育成を目指す教育研究を展開し、教育・心理・健康福祉等の分野における有為な人材の育成に資することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法）	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー ディプロマポリシー <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>
(概要)	・児童学部は、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自然的・社会的・文化的環境の中に成立する児童の生活・発達・教育・心理・活動等を学問的に理解し、児童の知情意にわたる調和的な育成を支援できる学修者に「学士（児童学、又は心理学）」の学位を授与する。

2. 本学部は、それぞれの学科が定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。

（児童学科）

・ 本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、児童学の専門知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（児童学）」の学位を授与する。

1. 児童の全体像に関わる理解とその育成支援に資する、児童関連の教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化の諸領域を総合的に学修している。

2. 児童研究の総合性と専門性を深め、情報化、グローバル化の文脈の中で教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化を理解しようとする態度を身につけている。

3. 急速に変化する現代社会の中で次世代を育成していく知見と手法を修得している。

4. 児童学全般に関わる専門的知見を基礎に、児童関連の職域（ビジネス分野を含む）等において、具体的な対応の仕方や指導法を実践できる臨床的スキルを身につけている。

（子ども心理学科）

・ 本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、「児童の権利に関する条約」に規定された18歳未満の子どもの心と行動、生きる生活世界についての理解を深め、健全な育成支援の技法を修得した者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（心理学）」の学位を授与する。

1. 心理学に関する基礎的理論と研究方法を修得し、これらを応用して研究を推進する能力をもち、更に心理学的援助の実践能力を身につけている。

2. 乳幼児期から青年期までの子どもの発達を支援できる知識と援助技法を身につけている。

3. 教育・健康福祉・医療関連分野及び関連企業等で活躍できる能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法）

「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー カリキュラムポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

（概要）

・ 児童学部は、以下の諸点に注力しながら、カリキュラムを編成する。

1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学生が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識及びスキルを修得することを支援するカリキュラムの編成。

2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学生が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を確保できるカリキュラムの編成。

3. 児童学全般について、教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化の各分野から、系統立てて学んでいくことのできるカリキュラムの編成。
4. 児童と児童を取り巻く家庭・地域・学校・社会・世界にわたる高度の理解に基づき、求められるニーズに必要な知識・技能を提供できる資質を養うカリキュラムの編成。
5. 児童学科には「初等教育」、「児童福祉」、「児童発達臨床」、「表現文化」、「子どもと健康」の5つの学びのキーワードを、子ども心理学科には「発達と社会の心理」、「教育と学習の心理」、「子どもと環境の心理臨床」の3つの学びのキーワードを設定し、児童学全般を常に視野におさめながら、自らの興味と関心に応じて修学できるカリキュラムの編成。

#### (児童学科)

- ・ 児童学科の専門教育科目は、学科のディプロマポリシーに謳われた諸基準を満たす学生を養成することを目的として編成されている。詳細は、以下の通りである。
  1. 総合学としての児童学を理解するために、教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化の各専門分野にわたる専門必修科目を置く。
  2. 児童学の各専門分野を学ぶために、「初等教育」、「児童福祉」、「児童発達臨床」、「表現文化」、「子どもと健康」からなる5つの学びのキーワードに準じた専門教育科目群を置く。
  3. 身体的・芸術的・言語的表現力を高め、急速に変化する現代の教育・保育の現場で通用する実践力を身につけるために、各分野の演習・実習科目を置く。
  4. 学修者の多様なキャリアニーズに対応するため、児童学と企業学習の接点を見出すことのできる汎用的な専門科目を置く。
  5. 自らの問題意識に基づき、当該の専門分野の教員による指導を受けながら、児童学の専門知識・技能を長期的に探究していく「児童学総合研究」を置く。
  6. 専門教育科目は、小学校教諭1種免許状、幼稚園教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士、児童厚生1級指導員、レクリエーション・インストラクター等、複数の免許・資格を選択する上に必要な科目を含む、変化の激しい現代社会における初等教育段階に対応できる資質を養う幅広い関連科目を編成している。

#### (子ども心理学科)

- ・ 子ども心理学科の「専門教育科目」は、児童学の一翼を担う心理学を中核としながら、児童関連諸科学を学修することを通じて、子どもの心理、行動、存在、またその背景としての子どもが生きる生活世界及び文化環境の科学的理解を促すことを主眼として編成されている。詳細は、以下の通りである。
  1. 学習心理学、認知心理学、感情心理学、統計解析法、心理学実験等の基礎的な心理学、さらに発達心理学、教育心理学、臨床心理学、社会心理学等の幅広い分野の心理学の専門的諸科学を系統的かつ専門的に学ぶことのできるカリキュラムの編成。
  2. 学修した心理学の専門的知識及び技術を活用して、様々な子どもの生活現場並びに学習現場に対応できるカウンセリングマインド及びスキルを育成できるカリキュラムの編成。
  3. 文献研究、実験研究、調査研究などの研究方法を学修することによって、子どもの成長を支援し得る実践力を培うことのできるカリキュラムの編成。

4. また、これら心理学の知識と技術に加え、児童学が本来基礎とする関連分野、即ち教育、福祉（社会）、保健、表現文化、また生物学、脳科学、精神医学等の観点から、子どもの心理と行動を多面的に理解し、教育、保育、福祉、医療等の子どもと関わる場で活躍する有能な人材を養成するカリキュラムの編成。
5. 第5セメスターから所属する「子ども心理学総合研究」において、2年間継続的に専門的知識を深めながら、研究態度及び方法を学ぶ。
6. 専門教育科目は、公認心理師、認定心理士、認定ムーブメント教育・療法中級指導者の免許・資格を履修する上に必要な科目を含むカウンセリングマインド及びスキルを養う関連科目を編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）

「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー アドミッションポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

（概要）

- ・ 児童学部の求める人材は、以下の通りである。
  1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
  2. 児童の指導・相談・援助等に対する強い関心を抱き、その活動に資する知識及び技能を身につけるべく努力を惜しまない人。
  3. 児童が生きる生活世界及び文化環境等に対する強い関心を抱き、これに関する学修及び研究への熱意を有する人。

（児童学科）

- ・ 児童学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。
  1. 教員や保育士など、児童に関わる専門家として活躍しようとする明確な目的をもち、児童を取り巻く問題を探求する能動性を有する人。
  2. 児童に関する総合的な理論を学ぶために、自ら知識を獲得できる読解力と知識をふまえて自らの考えを表現できる文章能力を身につけている人。
  3. 他者と円滑にコミュニケーションを図る能力や、体育・芸術等の分野において心身ともに豊かに表現する力を有している人。

（子ども心理学科）

- ・ 子ども心理学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。
  1. 文献を的確に読解・要約し、自分の考えを正確に記述・口述できるだけの基礎的国語力を身につけている人。
  2. クラブ活動やボランティア経験等、人と関わる経験を豊富にもち、カウンセリング能力の基礎をなすコミュニケーション能力を備えている人。
  3. こうした基礎的人間力をもとに、子ども心理学を積極的に学ぼうとする意欲的な心構えを備えている人。

学部等名	教育学部
教育研究上の目的（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (2)教育研究上の目的 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>	
(概要)	
・教育学部は、生涯学習過程を生きる人間の存在・成長・目的等に関する多角的理解を基に、教育に関する理論及びその応用・実践についての教育研究を行い、以って自他に対する教育力を培い、教育・文化等の分野における有為な人材の育成に資することを目的とする。	
卒業の認定に関する方針（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー ディプロマポリシー <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>	
(概要)	
・教育学部は、以下のように学位授与の要件を定める。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、情報化、グローバル化し、多様化・複雑化の一途をたどる日本社会の中にあつて、わが国の伝統文化と異文化が交錯する国際社会の動向についての学問的理解を深め、児童・生徒を指導するためにふさわしい心構え・知識・技術・態度を身につけている学修者に「学士（教育学）」の学位を授与する。</li> <li>2. 本学部は、学科が定める基準の単位数を修得していることを学位授与の基準とする。</li> </ol>	
(教育学科)	
・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養と人間性を培い、教育学の専門的知識と技術を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「学士（教育学）」の学位を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯学習過程を見据えて、人間の存在・成長・目的について多面的な教育学的理解をもつて、児童・生徒を教育しようとする情熱と勇気を身につけている。</li> <li>2. 専門性に富んだ高い教授スキルをもち、同時に学校間の相互連携に対応し得る総合的な知見をもつて、児童・生徒の生活全般にわたる指導を展開することができる。</li> <li>3. 自然・社会体験、教育関連施設及び奉仕活動等の指導体験を通して、人間力としての知性、感性、社会性、倫理観、コミュニケーション能力を児童・生徒に身につけさせることができる。</li> <li>4. 健全な良識に基づいた豊かな人間性と教育学的力量をもって生活及び教育全般の指導ができる。</li> </ol>	
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー カリキュラムポリシー <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>	
(概要)	
・教育学部は、以下の諸点に注力しながら、カリキュラムを編成する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学生が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識及びスキルを修得することができるカリキュラムの編成。</li> </ol>	



2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学生が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を確保できるカリキュラムの編成。
3. 生涯学習過程を通じて学び続ける教師を養成するため、総合教育科目を履修することによって、その基盤となる自己教育力を身につけさせるカリキュラムの編成。
4. 広い教養に裏づけられた教育学的識見と高い専門性をもった教授スキル、また教育職員としての情熱・勇気及び人間性を身につけさせるカリキュラムの編成。

(教育学科)

・教育学科の専門教育科目は、学校教育現場及び広く教育学的知見・技能及び判断力を必要とする社会のニーズに応えることを目途として編成されている。特に、全科目を学修段階に応じて、8つのセメスターに系統的に配置している。

1. 第1～2セメスターは、本学の「教育の理念(感謝と奉仕に生きる人づくり)」を初めとする建学の精神から始まり、高等教育における学修スキルのみならず、教育学的専門性を向上させるため、総合教育科目群と専門教育科目群の2領域の科目を同時に並行的に開講する。また、集団宿泊を伴うフレッシュマンセミナーを通して、教員としての実践的指導力の育成に資する教育実践演習を配置している。
2. 第3～4セメスターは、介護等体験が始まり、教育インターンシップの履修によって就業経験をしながら、取得希望の免許・資格を最終的に決定していく。
3. 第5～6セメスターは、教育実習指導が始まり、教育実習報告会を聴講し、教育実習に向けた準備段階に入る。また、「教育学総合研究」に所属し、ラボワークを通して教育者としての研究心を育てる。
4. 第7～8セメスターは、教育学総合研究での研究を継続しながら、教育実習に参加し、教職実践演習の履修において教員として必要な資質能力が有機的に統合・形成されているかを最後のセメスターにおいて確認し、新たな課題を自覚しながら教職生活を円滑にスタートできるようにする。
5. 専門教育科目は、小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状(国語・社会)、高等学校教諭1種免許状(国語・地理歴史・公民)、学芸員、司書教諭等、複数の免許・資格を選択する上に必要な科目を含む、変化の激しい現代社会及び教育問題に対応できる資質を養う幅広い関連科目を編成している。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法)

「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー アドミッションポリシー

<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

(概要)

- ・教育学部の求める人材は、以下の通りである。
1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
  2. 教職に対する強い関心を抱き、グローバル化されていく時代を自覚しつつ、幅広い領域にわたる学問分野にあって、自ら進んで学びとろうとする人。
  3. 人間性豊かな性情を子どもたちに分かち与え得る可能性を備え、教育界及び広く社会の教育活動に貢献しようとする意欲のある人。

<p>(教育学科)</p> <p>・教育学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校教育に興味・関心をもち、子どもが好きで、子どもの成長を積極的に支援しようとする情熱と気概をもった人。</li> <li>2. そのための知識・技能にわたる高度な専門性を修得しようとする責任意識をもった人。</li> <li>3. 小学校、中学校（国語・社会）、高等学校（国語・地理歴史・公民）の教員、または学芸員を目指すなど、将来の進路目標を明確にもった人。</li> </ol>
---

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>大学院・学部・学科</p> <p>公表方法：  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/faculty/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/faculty/index.html</a>  「情報公開」&gt;1. 基本情報 (4) 法人組織  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html</a></p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
家政学部	—	16人	14人	7人	1人	9人	47人
児童学部	—	16人	13人	5人	0人	0人	34人
教育学部	—	12人	9人	1人	0人	0人	22人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		74人				74人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： 「情報公開」>5. 大学等の教員に関する情報 (3) 教員の学位・業績 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/teacher/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/teacher/index.html</a>					
c. FD（ファカルティ・デベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>・教育方法・内容の改善を進めるための全学的な組織として、「キャリア教育・FD委員会」を設置している。当委員会では、教授方法の改善方法について検討し、1年間のFD活動の計画を策定し提示している。</p> <p>・「キャリア教育・FD委員会」が中心となり、「授業改善アンケート」、「ピアレビュー」、「授業コンサルティング」、「FD講演会」、「新任教員研修」等の実施、「ニューズレター」の発刊を行い、教員の資質・能力の向上に努めている。</p>							

- ・授業改善アンケートについては、教員が各セメスターの担当科目から1科目を選択し、授業の中盤（6～7週目）及び終盤（14～15週目）に計2回実施している。1回目のアンケート結果は、各教員に即時にフィードバックされ、教員は学生の意見をもとにセメスター後半における授業方法の見直し等を行うことになっている。2回目のアンケート結果についても各教員にフィードバックされ、教員は、1回目のアンケート結果と比較し自身の授業改善が有効であったか検証するとともに、次年度に向けた更なる授業改善を検討し、「自己評価シート」として、「キャリア教育・FD委員会」に提出することとしている。
- ・各教員から提出された「自己評価シート」については、「キャリア教育・FD委員会」が取りまとめ、「授業改善アンケート結果報告書」として発行している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
家政学部	200人	239人	119.5%	800人	933人	116.6%	0人	1人
児童学部	220人	296人	134.5%	880人	1,106人	125.7%	0人	6人
教育学部	80人	123人	153.8%	360人	473人	131.4%	20人	8人
合計	500人	658人	131.6%	2,040人	2,512人	123.1%	20人	15人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
家政学部	241人 (100%)	4人 (1.7%)	229人 (95.0%)	8人 (3.3%)
児童学部	253人 (100%)	2人 (0.8%)	249人 (98.4%)	2人 (0.8%)
教育学部	103人 (100%)	0人 (0.0%)	98人 (95.1%)	5人 (4.9%)
合計	597人 (100%)	6人 (1.0%)	576人 (96.5%)	15人 (2.5%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)	
家政学部 家政保健学科	学校 [公立] [養護教諭] 神奈川県／横浜市／川崎市／相模原市／北海道／福島県 ／茨城県／千葉県／山梨県／静岡県／浜松市／山口県／高知県 [中学校教諭(家庭)] 神奈川県／横浜市／川崎市／東京都／静岡県 [私立] [養護教諭] 学校法人横須賀学院中学高等学校

家政学部 家政保健学科	企業	三菱食品株式会社／株式会社オンワード樫山／住友不動産販売株式会社／株式会社静岡銀行／日本航空株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／株式会社アルビオン
	公務員	海老名市役所／足利市役所
家政学部 管理栄養学科	病院	医療法人IMSグループ／医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院／医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院
	社会福祉 施設等	社会福祉法人湖成会(湖山医療福祉グループ)／医療法人財団百葉の会(湖山医療福祉グループ)／社会福祉法人寿楽園
	保育所	社会福祉法人横浜YMCA福祉会 横浜YMCA保育園／株式会社ポピンズ／株式会社日本保育サービス(JPホールディングスグループ)
	企業	敷島製パン株式会社／エームサービス株式会社／富士産業株式会社／ウエルシア薬局株式会社／株式会社三菱UFJ銀行／株式会社横浜銀行／全国農業協同組合連合会
	公務員	(管理栄養士職・栄養士職系) 横浜市／川崎市／茅ヶ崎市／相模原市／秦野市／宇都宮市／開成町 (行政事務系) 平塚市
児童学部 児童学科	学校	[公立] [小学校教諭] 神奈川県／横浜市／川崎市／栃木県／東京都／千葉県 [特別支援学校教諭] 神奈川県／川崎市／千葉県
	幼稚園	[公立] 秦野市／小田原市／目立市／長泉町／御殿場市／中鳥村／糸魚川市 [私立] 辻堂二葉幼稚園／認定こども園みなみ幼稚園／舞岡幼稚園／愛和のぞみ幼稚園／すみれが丘幼稚園／しみずがおか幼稚園／藤沢若葉幼稚園／都筑ヶ丘幼稚園／小鳩幼稚園／宮前幼稚園／関東学院六浦こども園／認定こども園ムロノキッズ／まきが原幼稚園／小峰幼稚園／山王台幼稚園・風のこども園／誠心第一幼稚園／大和みどりが丘幼稚園
	保育所 社会福祉 施設等	[公立] 横浜市／藤沢市／茅ヶ崎市／平塚市／綾瀬市／品川区／港区／大田区 [私立] エクレスすみれ保育園／新杉田のびのび保育園／緑の社保育園／ゆうゆうきつず横浜／新磯野保育園／鶴見あけぼの保育園／百合愛児園／春光保育園／別所保育園／うちゅう保育園たんまち／かきまの社保育園／れいもんど南町田保育園／つばさ保育園／株式会社日本保育サービス／株式会社ベネッセスタイルケア／ライクアカデミー株式会社
	企業	株式会社LITALICO／株式会社ニチイ学館／横浜農業協同組合／株式会社東京ベイホテルズ 東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート

児童学部 子ども心理学科	学校	[公立] 〔小学校教諭〕神奈川県／横浜市／東京都 〔特別支援学校教諭〕横浜市／静岡県 〔養護教諭〕神奈川県／横浜市／静岡県
	幼稚園	[公立] 小田原市／御殿場市 [私立] お三の宮日枝幼稚園／川崎こまどり幼稚園／金沢百合幼稚園／岩戸幼稚園／日出幼稚園／学校法人湘南やまゆり学園／認定こども園いのやま／神大寺幼稚園／馬込なかよし幼稚園／認定こども園曙幼稚園
	企業	株式会社ニチイ学館／株式会社ベネッセスタイルケア／中央出版株式会社／社会福祉法人東京都社会福祉事業団／東日本旅客鉄道株式会社／トランスコスモス株式会社
	公務員	中野区役所(心理職)／神奈川県警察本部(警察事務職)
教育学部 教育学科	学校	[公立] 〔中学校教諭(社会)〕横浜市 〔小学校教諭〕神奈川県／横浜市／川崎市／宮城県／茨城県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／新潟県／長野県／岡山県／浦添市 〔特別支援学校教諭〕神奈川県／静岡県 [私立] 〔社会科教諭〕岩谷学園高等専修学校
	企業	株式会社マイナビ／株式会社さなる／株式会社ニチイ学館／株式会社横浜銀行／東日本旅客鉄道株式会社
	公務員	神奈川県(学校事務職)／横浜市役所(行政事務職)／行方市役所(行政事務職)
(備考)		

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
家政学部	247人 (100%)	238人 (96.4%)	1人 (0.4%)	8人 (3.2%)	0人 (0.0%)
児童学部	254人 (100%)	243人 (95.7%)	3人 (1.2%)	8人 (3.1%)	0人 (0.0%)
教育学部	92人 (100%)	88人 (95.7%)	3人 (3.3%)	1人 (1.1%)	0人 (0.0%)
合計	593人 (100%)	569人 (96.0%)	7人 (1.2%)	17人 (2.9%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>「情報公開」&gt;6. 大学等の教育課程に関する情報 (1) 授業科目、授業内容、授業計画  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</a></p> <p>・「授業科目、授業内容、授業計画」の項目に掲載されている内容は次のとおり。</p> <p>1) 各授業科目の科目ナンバー、カリキュラムチャート                  2) 各学科のカリキュラム                  3) シラバス                  4) 実務経験を活かした授業</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>「情報公開」&gt;6. 大学等の教育課程に関する情報 (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</a></p> <p>・「学修成果の評価、卒業・修了認定の基準」の項目に掲載されている内容は次のとおり。</p> <p>1) 成績評価基準、GPA制度、GPAの算出式                  2) CAP制 (履修単位の登録上限設定)                  3) 卒業要件単位、取得可能学位</p>
---

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
家政学部	家政保健学科	124単位	有・無	24単位×2
	管理栄養学科	125単位	有・無	24単位×2
児童学部	児童学科	124単位	有・無	24単位×2
	子ども心理学科	124単位	有・無	24単位×2
教育学部	教育学科	124単位	有・無	24単位×2

G P Aの活用状況 (任意記載事項)

<p>「情報公開」&gt;6. 大学等の教育課程に関する情報</p> <p>公表方法： (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準：成績評価基準、GPA制度  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</a></p>
--

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)

<p>「情報公開」&gt;10. 大学等のIRに関する情報</p> <p>(1) 学修時間                  (2) 学生の学修に対する意欲                  (3) 学生の成長実感                  (4) 学生の満足度                  (5) 単位取得状況                  (6) 学位取得状況                  (7) 修業年限期間内に卒業する学生の状況                  (8) 免許資格取得状況、国家試験合格状況</p> <p>公表方法：  <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/ir/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/ir/index.html</a></p>
---

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (6) キャンパスの概要、耐震化 <a href="http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html">http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</a>
-------	--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
家政学部	家政保健学科	640,000円	380,000円	371,500円	施設費、実験実習費、教育充実費、文化厚生費、同窓会終身会費
	管理栄養学科				
児童学部	児童学科				
	子ども心理学科				
教育学部	教育学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>「オフィスアワー制度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義や自主学習の中で感じた疑問点を教員に直接質問できる制度を設けている。</li> <li>・各教員が週に2時限のオフィスアワーを設定し、予約をすることなく、専任教員に会って質問や相談をすることができる。</li> <li>・教員一人ひとりが学生の修学意欲を支えている。</li> </ul> <p>「クラスアドバイザー・ゼミナール担当教員」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科各学年にクラスアドバイザーが配置されており、授業の選び方や学習の方法、学生生活での悩みなど、学生が抱えるさまざまな問題に対応している。</li> <li>・3～4年次には、ゼミナール担当教員が就職センターと連携しながら卒業後の進路についての相談に応じている。</li> </ul> <p>「教務部教務課・学務課・免許・資格指導課」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部教務課では授業、試験、教科書に関すること等、学務課では履修登録、各種証明書の発行等、免許・資格指導課では各種実習に関すること等を通じて、修学支援を行っている。</li> </ul>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>「就職センター」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職センターでは一般企業や公務員を中心に学生が希望する職種や業種、進路に進むための支援を行っている。</li> <li>・オリエンテーション、就職支援講座を開催するほか、就職相談、履歴書やエントリーシート・提出書類の添削、面接対策（模擬面接など）にも個別に対応している。</li> </ul>

- ・就職カウンセラーだけでなく、就職センターのスタッフ全員が学生をフォローし、就職活動への不安や疑問を解消するサポート体制が整っている。

「教職センター」

- ・教職センターでは教育・保育者をめざす学生を総合的にサポートする体制を整えている。
- ・教員採用試験対策講座の開催のほか、教職全般に関する個別相談や、幼稚園教諭・保育士としての就職活動支援を行っている。
- ・試験対策・就職活動支援とともに信頼される教育・保育者となるために何が必要かを伝えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

「学生相談室」

- ・学生相談室では、学生生活の様々な場面で精神的不安を抱える学生に対し、臨床心理士の資格をもつ相談員によるカウンセリングを通して、学生生活を充実して送ることができるようにサポートしている。

「保健センター」

- ・保健センターでは、けがや病気に対する救急処置はもちろんのこと、学生の健康保持増進を目的とした健康づくり支援を行っている。
- ・充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切であり、健康上の悩みについて、気軽に相談できる体制となっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： 大学ホームページ>大学概要>「情報公開」  
<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/index.html>